

事前評価調書

I 事業概要																																																																							
事業名	道路事業																																																																						
地区名	一般県道 田 ^{たもみ} 名 ^な 古屋 ^{ごや} 線																																																																						
事業箇所	豊田市 ^{たもみ} 田 ^た 名 ^な 町																																																																						
事業の あらまし	<p>一般県道田^{たもみ}名^な古屋^{ごや}線は、豊田市の主要地方道名古屋豊田線の田^た名^な町交差点から名古屋市内へと至る路線であり、ジブリパークへのアクセス道路でもある。</p> <p>しかし、当事業区間には、沿線及び周辺に高校や大学、企業団地があり、通勤通学時間帯における交通量が多くなっているが、歩道がなく、交通安全の面で課題となっている。</p> <p>このため、歩行者等の安全確保を図るため、一般県道田^{たもみ}名^な古屋^{ごや}線の現道拡幅を実施するものである。</p>																																																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通事故対策の推進（安全な歩行空間）</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>																																																																						
事業費	事業費	内訳																																																																					
	9.0 億円	■工事費 7.0 億円、■用補費 1.5 億円、■その他 0.5 億円																																																																					
事業期間	採択予定年度	2025 年度	着工予定年度	2025 年度	完成予定年度	2031 年度																																																																	
	事業内容 現道拡幅（延長：1.2 km、車線数：2 車線、幅員：12.5m）																																																																						
II 評価																																																																							
① 事業の 必要性	1) 必要性	<p>①交通事故対策の推進（安全な歩行空間）</p> <p>・現道は歩道がなく、交通安全上危険な状態であることから、沿線住民が安全に通行できる環境をつくるよう整備するものである。</p>																																																																					
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>・安全な交通環境の確保のため事業が必要である。</p>																																																																				
② 事業の 実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造物工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="3">6.2</td> <td colspan="3">2.8</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>							2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計	工種 区分	調査・設計	←		→					/	用地補償	←		→				工事			←	→			・土工			←	→			・構造物工			←	→				・舗装工				←	→		事業費(億円)		6.2			2.8			9.0
			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計																																																													
工種 区分	調査・設計	←		→					/																																																														
	用地補償	←		→																																																																			
	工事			←	→																																																																		
	・土工			←	→																																																																		
	・構造物工			←	→																																																																		
	・舗装工				←	→																																																																	
事業費(億円)		6.2			2.8			9.0																																																															
2) 地元の合 意形成	<p>・令和6年11月に近隣住民に対して事業説明会を開催し、地元との合意形成を図っている。</p>																																																																						

判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①、②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通の円滑化状況、安全性の改善状況		